

## 令和6年度 第1回いいだ未来デザイン会議における 佐藤飯田市長あいさつ要旨

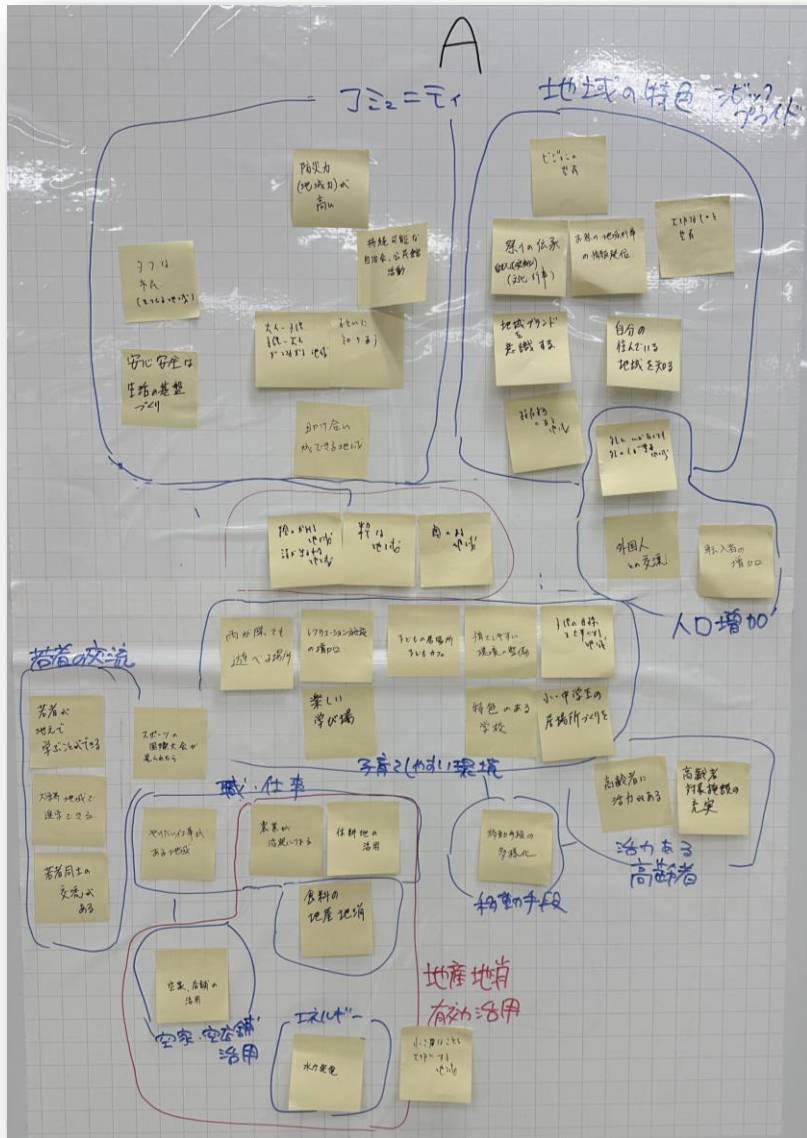
- ・今年度は中期計画の最終年であり、仕上げの年として事業執行していく。併せて、後期計画を策定する非常に重要な年になる。委員の皆様には難しい課題について議論いただく。今回の後期計画の策定にあたって、お願いしたいことや考えていることをお話させていただく。
- ・いいだ未来デザイン 2028 は、元々2027年にリニア開業を見据えて、12年間の長期計画で策定している。しかし、リニア開業時期は、2027年開業が断念され静岡工区の着工から10年掛かることから、ずいぶん先の未来となった。後期計画をどのように作るか、マインドセット（考え方）から難しい。
- ・いいだ未来デザイン 2028 は、未来ビジョンと人口ビジョンがあり、2028年の時点で開業効果が既に現れるビジョンとなっているため、見直さなければいけない。ただ、全く新しい総合計画を作るというわけではなく、未来ビジョンの目指す8つのまちの姿は普遍的な姿であり、変更するものではないと考えている。リニア開業はもう少し先となったが、全体として後期計画をどのように考えるか。
- ・計画の終期をどう考えるかについても議論をいただきたい。元々後期計画は2028年までの4年間であるが、2028年のままでいくか、SDGsの目標年である2030年という形で6年間とする考え方もあるかもしれない。
- ・これまでも、それぞれの基本目標がSDGsの17の目標のうち、どれに関連するかは計画の中で表示している。もう少しローカライズし、ピクチャーを変える、新しく作ることも含めて飯田市版のSDGsができないかと考えている。
- ・なぜ今更、世の中に当たり前の考え方として普及しているSDGsをあえて取り上げるのかということについては、持続可能な飯田市を作りたいということ、ムトスの精神に基づいた自立したまちを作りたいということが、SDGsとすごく親和性があるためである。また、小中学生がものすごくSDGsを勉強していて、大人がこどもから教えてもらうような場面も多い。児童会や生徒会で「私たちのSDGs」という取組を結構やっていて、具体的な目標をSDGsに絡めて取り組んでいる学校も出てきている。そういう状況を見たときに、今までいいだ未来デザインをこどもたちが議論している姿は見られなかったが、SDGsという共通言語により、こどもがいいだ未来デザインを考える機会を作れないかと考えている。

- ・飯田市版にローカライズしたSDGsに、こどもや若者の意見、特に小中学生の意見、高校生の意見をSDGsという切り口を通じて入れることが出来ればすごく良いと考えている。そういった点も含めて、飯田市版のSDGsを作るというチャレンジングなアプローチを皆さんと一緒に考えたい。
- ・12月の飯田市議会に後期計画の議案をかけるつもりで動いていくと、半年という期間に、色んな視点から議論していくということになる。委員の皆さんに負荷が掛かる内容かと思うが、委員長をはじめ、委員の皆さんには苦勞をお掛けするが、難しい課題と一緒に考えていただければありがたい。
- ・この半年から1年の間に、皆さんと一緒に次の飯田市の後期計画を作っていきたい。本日は、グループワークをしていただくが、それぞれの立場で日頃の考えや事務局からの説明に対して感じたことを、忌憚なく沢山出していただければありがたい。

以上

# いいだ未来デザイン2028後期計画におけるまちづくりの方向性を検討するためのグループワークの結果

## 令和6年度 第1回 いいだ未来デザイン会議におけるグループワーク グループA



### ポイント – 結果共有のための発表から

- 「絆な地域」を核に「絵が生まれる」「詩が生まれる」「奥が深い」地域を中心にしている。
- 「コミュニティ」では、助け合いができる、自治会や公民館が繋がっていくことによって、安全・安心な防災力もついてくるなど、地域力の強いコミュニティが生まれるような地域として意見をまとめた。
- 「地域の特色・シビックプライド」では、自分の住んでいる地域を知ること、祭りや地域の行事などが減少しているけれども、大切にすべきところは共有していくという意見をまとめた。
- 「人口増加」では、外国人との交流や転入者の増加の視点が出されている。
- 「子育てしやすい環境」では、レクリエーション施設や雨が降っても遊べる場所を含めた子どもたちの居場所づくりや楽しい学びの場、特色ある教育・学校に向けた取組の視点も出された。
- 「活力ある高齢者」では、これからの高齢者には、活力も仕事も収入もある地域になったらとの意見があった。
- 子どもと高齢者に関係することとして、移動手段が大事になってくるであろうという視点もあった。
- 「若者の交流」では、若者がこの地域で学べる環境があること、若者同士の交流があること、スポーツの国際大会という意見もありましたが、外に出ていかなければいけないことをこの地域でできるようにすることは、大事な考え方ではないかという意見が出ている。
- 「地産地消・有効活用」では、農業が活発になる、休耕地が活用できる、食料の地産地消という視点、また、空き家の活用、地域の資源を活用してエネルギーを地産地消するという視点が出てきている。身近にあるものでエネルギーを地産地消としいくような取組をしてはどうかという意見も出てきている。
- 「職・仕事」では、やりたい仕事がある地域であるといいなという意見が出されている。

いいだ未来デザイン2028後期計画におけるまちづくりの方向性を検討するための個別ワークシート  
 ～ 持続可能な地域を創造していく上で必要と思うこと、大切にすべきと思うこと ～

## グループA 意見まとめ

【留意事項】

1 関係する発言の趣旨を「●」で記載している。

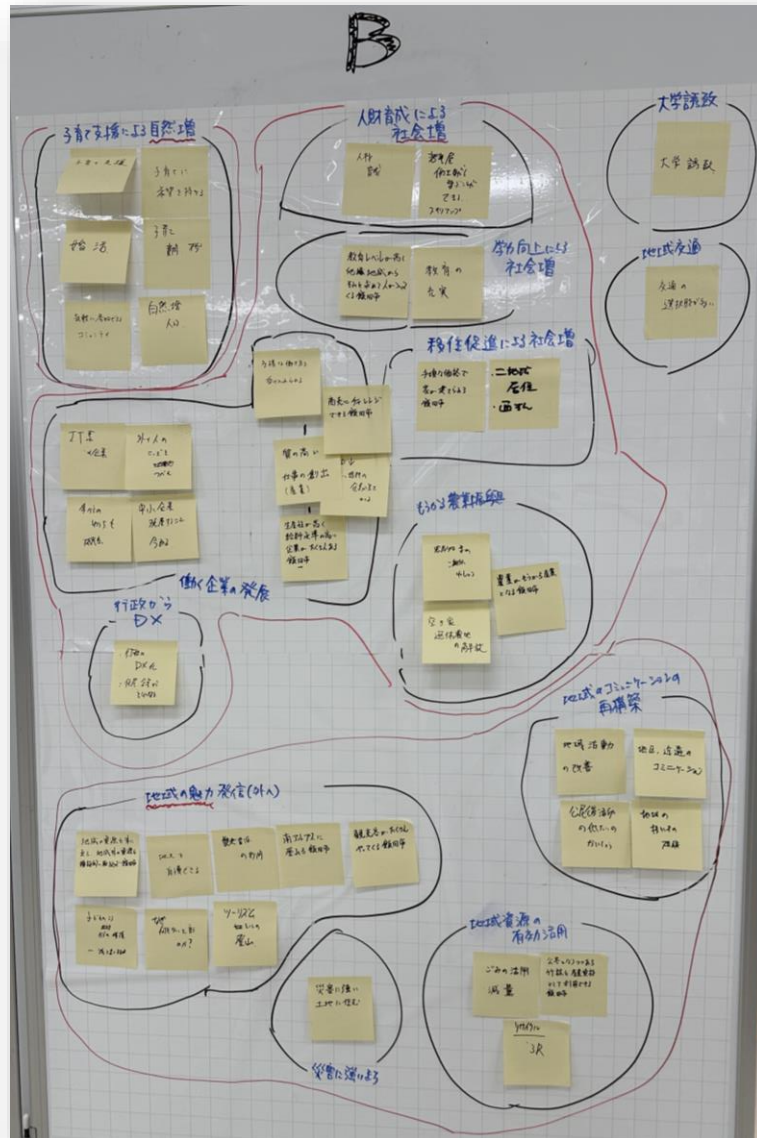
| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】         | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | キーワード                        | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------|
| 1   | 安心・安全な生活の基盤                                             | 8050問題、ヤングケアラー、ひとり親経済格差など、隠れているものを見える化し、皆で共有できないか        | セーフティネットの充実および周知<br>●どこでも誰でも医療を受けれる                                  | 社会保障<br>社会福祉                 | 氣賀沢 公彦委員   |
| 2   | 高齢者対象施設の充実                                              | 高齢者人口が減少していったとき、福祉施設の支え手が不足し、事業継続が成り立たなくなる               | どこでも、だれでも利用できる施設を                                                    | 高齢者<br>介護人材確保                | 氣賀沢 公彦委員   |
| 3   | 自分の住んでいる地域を知る                                           | 他地区の人からうらやましがられている理由がわかっていない                             | 文化・歴史・成り立ちを知り、これからを考えるヒント<br>としたい                                    | 地域の歴史・文化                     | 氣賀沢 公彦委員   |
| 4   | 小中学生の居場所づくり                                             | 放課後、長期休暇中のこどもの居場所や食事の問題が出てきている<br>●定員オーバーにより入れない地区もあると聞く | 相談窓口の紹介、周知を図る                                                        | こどもの居場所づくり                   | 氣賀沢 公彦委員   |
| 5   | 楽しい学び                                                   | 不登校生徒児童が増えている<br>学校外教育者の増加・格差                            | 教員一人当たりの生徒数20人程度が望ましいと教師も<br>言っている<br>●児童生徒ひとり一人に目の行き届いた学校           | 学校教育のあり方<br>不登校児             | 氣賀沢 公彦委員   |
| 6   | 食料の地産地消                                                 | 地元商店街の衰退を止めたい<br>学校給食の充実                                 | 購入品は地元から<br>経済循環を図り外部へお金を回さない                                        | 食<br>地産地消                    | 氣賀沢 公彦委員   |
| 7   | 地域ブランドを意識する                                             | 食材や商品、建物、文化に目を向けているのか                                    | オンリーワンを主張する<br>人材の育成                                                 | 地域への誇りの醸成<br>地域の歴史・文化        | 氣賀沢 公彦委員   |
| 8   | 持続可能な公民館活動、自治会活動                                        | 組合退会者の増と入会者の減<br>●高齢化による退会者の減<br>●転入者の未加入                | 地域の課題解決、寄り添った活動は地域で自治が大事                                             | コミュニティ<br>地域自治<br>公民館        | 永井 祐子委員    |
| 9   | 水力発電                                                    | 豊かな水資源                                                   | まさにSDG s                                                             | エネルギー<br>地産地消                | 永井 祐子委員    |
| 10  | 休耕地の活用                                                  | 何も生産せず、雑草や竹が生えているのはもったいない                                | 収入が得られるような活動につなげる<br>シナチク                                            | 資源の利活用<br>遊休農地<br>起業         | 永井 祐子委員    |
| 11  | いつでも気軽に立ち寄れるこどもの居場所                                     | NPO等、各団体が頑張っている                                          | 親子の拠り所となれば<br>●それぞれの団体の情報交換の場、ネットワークが必要                              | こどもの居場所づくり                   | 永井 祐子委員    |
| 12  | 空き家の活用                                                  | 年々、手入れされていない空き家が増えている<br>●街の中の店舗は空き地になっていくが              | 安心、安全                                                                | 資源の利活用<br>空き家・空き店舗           | 永井 祐子委員    |
| 13  | 飯田でもスポーツの国際大会を直に見られたら                                   | 本物の迫力、まじかに<br>●外に出ていかないと機会がない                            | 施設の維持管理<br>●一流のスポーツに触れられる機会                                          | スポーツ                         | 永井 祐子委員    |
| 14  | 住民同士の助け合い                                               | 関係性の希薄化<br>高齢化による活動低下<br>●担い手不足                          | 住民だけでの助け合い以外の仕組みづくり<br>つながりをサポートする<br>できないことをフォローできる資源               | コミュニティ<br>地域自治<br>助け合いができる地域 | 山上 芳雄委員    |

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                             | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                           | キーワード                               | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|------------|
| 15  | 転入者の増加                                                  | 人口減少、働き手がない                                                                                                  | 住みたいまち、住みやすさをアピール<br>●総合的に魅力がある地域には人が来る<br>●交通手段が充実していて都市部へのアクセスも良い<br>地域には人が来る<br>●特色のある学校がある | 人口増<br>2地域居住                        | 山上 芳雄委員    |
| 16  | 子育てしやすいまち                                               | 世帯構成の変化・多様化、ひとり親の増加等                                                                                         | 子育てを助け合える地域、サポート体制<br>●核家族化に伴う孤育での増加                                                           | 子育て支援                               | 山上 芳雄委員    |
| 17  | やりたい仕事がある地域                                             | 学生が戻ってこない<br>都会で就職                                                                                           | 飯田市に住むメリット<br>働く場所、仕事の増                                                                        | 多様な職業<br>若年層                        | 山上 芳雄委員    |
| 18  | 大学等の設置                                                  | 地域内で進学選択肢が少ないため流出                                                                                            | 大学、短大、専門学校<br>●学生がいるまちは活気がある                                                                   | 高等教育機関<br>若年層<br>若者の交流              | 山上 芳雄委員    |
| 19  | 移動手段の多様化                                                | 高齢者が実勢に使える移動手段が少ない<br>免許がないと不便<br>●循環バスも限られている<br>●高校生、高齢者中心に利用されている<br>●沿線やバス停の近くに住んでいる方がいいが、そう<br>でないといけない | 交通手段が増えると車がなくても住みやすい<br>●ライドシェア、乗り合いができる仕組み<br>●高齢者ばかりでなく若者も<br>●循環バスだけでなく、広く回るバスも             | 多様な移動手段<br>公共交通<br>高齢者<br>若年層       | 山上 芳雄委員    |
| 20  | 農業が活発になる                                                | 空き農地が増加<br>農家減少                                                                                              | 農地の有効活用、地域活動<br>農業会社設立、特色も出す<br>●遊休農地を活用した新しい仕事、新しい特産品作り                                       | 資源の利活用<br>遊休農地<br>起業                | 山上 芳雄委員    |
| 21  | レクリエーション施設の増加                                           | 若者世代や家族が休日に行くところが少ない<br>●生活の中で楽しめる場所が少ない                                                                     | 家族が楽しめる施設、場の拡充<br>●雨天時に遊べる場所が必要                                                                | 子育て支援<br>若年層<br>若者交流<br>雨が降っても遊べる場所 | 山上 芳雄委員    |
| 22  | 祭り、地域行事の情報発信                                            | 来てくれる人は増えてきたが、県外へのPRを工夫する<br>住民だけでは限界                                                                        | PR、情報発信、サポートできる仕組み                                                                             | 魅力発信<br>情報発信<br>地域の歴史・文化            | 山上 芳雄委員    |
| 23  | 防災力（地域力）が高い地域                                           | 被災時に個人、地域の助け合いが必要<br>●有事の際に対応できる市民の力                                                                         | 地域住民同士の普段からの交流                                                                                 | コミュニティ<br>地域防災<br>地域自治              | 三浦 弥生委員    |
| 24  | 若者同士の交流がある                                              | 若者の流出の原因になっている<br>まちの活性化、若者の出会い、定住につながる                                                                      | 若者が対面で交流できる場（教育機関、職場、イベン<br>ト）がある<br>●出会いの機会の創出につながる                                           | 若年層<br>多様な職業<br>若者交流<br>出会いの機会      | 三浦 弥生委員    |
| 25  | 若者が地元で学ぶことができる                                          | 高校卒業後に地元を離れて高等教育を受けなければなら<br>ない現状がある                                                                         | 豊かな高等教育機関がある<br>若者が望む学びの場がある<br>●地元で完結できる                                                      | 高等教育機関<br>若年層                       | 三浦 弥生委員    |
| 26  | 外国人との交流                                                 | 外国人との交流が少ない<br>行けなければ来てもらう<br>多様性を学ぶことは大切                                                                    | 観光（ゲストハウス、ツアーガイド）での交流<br>●自分が行かなくても外から来てくれることで交流が<br>生まれる                                      | 外国人<br>多文化交流                        | 三浦 弥生委員    |
| 27  | 祭り（文化・行事）の伝承                                            | 地域のこどもから大人までが関わる<br>地域に愛着を持つことができる                                                                           | 世代間での交流<br>こどもの頃から役割を与える<br>●こどもが大人を尊敬する環境                                                     | 世代間交流<br>地域の歴史・文化                   | 三浦 弥生委員    |
| 28  | 高齢者に活力がある                                               | 高齢化率が高いなら自立して生き生きしていれば良い                                                                                     | 高齢者が役割を持って、楽しく収入を得る<br>●農業などに卓越している方がいる                                                        | 高齢者                                 | 三浦 弥生委員    |

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                       | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                                   | キーワード                              | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|------------|
| 29  | タフな市民が生きる地域                                             | 何が起るかわからない時代<br>何が起っても生き延びる市民の力が重要                                                     | 常に希望を持つ教育<br>生き方を示す                                                                                                                                    | コミュニティ<br>地域防災<br>地域自治             | 石神 隆委員     |
| 30  | ビジョンを共有する地域                                             | 多様な人の総合的な力を発揮するため、大きなビジョン<br>を皆が共有する                                                   | 歴史を学ぶ<br>祭りのなものを活発に                                                                                                                                    | 世代間交流<br>地域の歴史・文化                  | 石神 隆委員     |
| 31  | 小さなことを大切にする地域                                           | 小循環の健全なことが環境のベース                                                                       | 小さな商業、小さな農業、様々な食<br>●大企業だけでなく規模の小さい仕事も大切にする<br>●インフラが整ってきたため、可能性がたくさんある<br>●飯田でも仕事を作っている                                                               | 多様な職業<br>多様な食文化                    | 石神 隆委員     |
| 32  | お互いによく知っている地域                                           | 環境の社会的なベースはコミュニティの健全性                                                                  | 公民館活動をはじめ、飯田が培ってきたコミュニティ形<br>成ツールをさらに磨き上げる                                                                                                             | コミュニティ<br>公民館活動                    | 石神 隆委員     |
| 33  | 大切なものを共有する地域                                            | いわゆる「龍」を大切に<br>新しい「龍」を支える                                                              | こわいもの、〇〇するものを改めて作っても、大切なも<br>の、まちの心のシンボル<br>ex. りんご並木<br>●ビジョンを共有する                                                                                    | ビジョンの共有<br>情報発信                    | 石神 隆委員     |
| 34  | 特産物のある地域                                                | 地域の歴史、特色を共有することが、地域を磨き上げる<br>ことになる                                                     | 農、工、(特に)食について、地域の特色、誇りを考える、<br>作っていく<br>●地域の誇りの醸成<br>●外への発信                                                                                            | 魅力発信<br>情報発信<br>地域の歴史・文化<br>地域への誇り | 石神 隆委員     |
| 35  | こどもの目線を大事にする地域                                          | 地域の持続性のために市民                                                                           | こどもの思い出の空間を大切にする                                                                                                                                       | こども                                | 石神 隆委員     |
| 36  | 大人がこどもと、こどもが大人とつながる地域                                   | 世代間のコミュニケーションが持続可能な社会のベース                                                              | 地域内に教える職業、働き方を積極的につくっていく                                                                                                                               | 世代間交流                              | 石神 隆委員     |
| 37  | 絵のかける地域<br>詩が生まれる地域                                     | 絵心や詩心が生まれる＝心地よい地域                                                                      | 長続きするものを大切にしてい<br>特に自然や生活<br>●常に成長している地域<br>●夢、希望を与えるのではなく、みんなが参加して描く<br>●画家、詩人が生まれる地域は良い地域                                                            | ビジョンの共有                            | 石神 隆委員     |
| 38  | 粹な地域<br>資源エネルギーを使わなくて豊かな生活                              | 粹＝エネルギーがなくてすむ<br>心の〇〇、資源は心<br>●SDG s そのもの、夏に藍色の服を着る、風鈴など<br>●ノーエネルギー<br>●飯田は特にそれが残っている | 風流な生活(夕涼み、風鈴…no energy)<br>心豊かな暮らし<br>●心で感じる豊かさ<br>●資源が少ない中でいかに心豊かに暮らす                                                                                 | エネルギー                              | 石神 隆委員     |
| 39  | 奥のある地域<br>味わいのある地域                                      | いくらでも広がる心の領域                                                                           | 〇〇をする人の多い地域<br>文化を大切にする地域<br>身近に趣味、経験など〇さが介在<br>●掘れば掘るほど面白い<br>●日本は西洋と違い真ん中に大きなランドマークがない<br>ため、中に入り込むと面白い<br>●ランドマークは大きく変わらないが、掘っていった<br>中身はどんどん変わっていく | 地域の歴史・文化<br>気質                     | 石神 隆委員     |
| 40  | 外に行かなくても、外の人が来る地域                                       | 生の情報を発信することが地域の魅力に人が来る、誇り<br>が生まれる                                                     | 探れば探るほど興味のわく地域<br>現在の資源の見直し<br>●誇りがあると外から人が来る                                                                                                          | 魅力発信<br>情報発信<br>地域の歴史・文化<br>地域への誇り | 石神 隆委員     |

# いいだ未来デザイン2028後期計画におけるまちづくりの方向性を検討するためのグループワークの結果

## 令和6年度 第1回 いいだ未来デザイン会議におけるグループワーク グループB



### ポイント – 結果共有のための発表から

- 大きく3つにグルーピングした。1つ目と2つ目は、人口に係るところで自然増と社会増、3つ目は、地域の魅力発信として、その中に細かなグループがある。
- まず、人口の自然増では、子育てをしやすいまちづくりの視点から、結婚・出産・子育てに、特に経済的に不安がないまちが良いのではないかという意見が出された。
- 人口の社会増に関しては、人材育成や教育の視点、また、地域で働くことを考えたときに、多様な働き方の寛容であるとか、質の高い、給料水準が高い仕事があるか等も含めて、しっかりと生活に支障がない収入を得られるような産業のあり方を模索すること、失敗を恐れずにチャレンジができる環境整備といった視点での意見もあった。
- 農業については、地産地消の視点だけではなく、外に対して売っていく視点も重要であるとの意見が出ている。
- 地域の魅力発信ということでは、地域にある資源を観光資源として活用していくという視点、非常に魅力のある地域であるにも関わらず「何もない」と言ってしまう謙虚さではなく、もっと外にアピールしていく、発信していくことで、交流等が動き出し、移住定住に繋がってくるとの意見も出された。

いいだ未来デザイン2028後期計画におけるまちづくりの方向性を検討するための個別ワークシート  
 ～ 持続可能な地域を創造していく上で必要と思うこと、大切にすべきと思うこと ～  
**グループB 意見まとめ**

【留意事項】

- 1 小林 伸委員及び杉山 範子委員は、ご都合によりグループワークでの発言はなかったが、個人ワークシートの提出をいただいているため、その内容を記載している。
- 2 関係する発言の趣旨を「●」で記載している。

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】     | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                     | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                                                                                                                                      | キーワード                          | 備考<br>発言者等 |
|-----|-------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|------------|
| 1   | 教育レベルが高く、他地域から人が入ってくる市                                      | 人口の社会減<br>●お金持ちはお金持ちの中で過ごしたい。子育ての<br>環境を重視する人が多い。<br>●特化した形でも良いが、学力を向上させるような<br>教育の場を整えることは教育移住に繋がる。 | 教育水準を高める<br>学力レベルが高まることで人が集まってくる<br>●飯田市の学校に通うと頭が良くなるということに<br>なれば、親は子どもを連れて移住してくる。<br>●学力を高める教育水準を高めることが必要                                                                                                                                               | 学力を高める教育<br>教育移住<br>社会減の緩和策    | 河野 敦委員     |
| 2   | 教育の充実<br>●求められる人材が大きく変化している時代に、適し<br>た人材育成ができる環境を整備する必要がある。 | 次の時代に合った人材を育てる必要がある                                                                                  | 人材育成<br>●キャリア教育だけに限らず、広い年代での教育の<br>方向性を柔軟に変化させていく必要がある。<br>●企業と教育がセットになって、教育も受けられる<br>し産業人材も育てられる。働きながらスキルアップ<br>を図れる様な対応は必要で、企業と協力して人材<br>育成ができるまちづくりは必要な視点。<br>●人の数が減って来る中で、この視点は重要<br>●自ら学び、高めていきたいと思っている有能な人材<br>を確保できるという視点でも、企業からも喜ばれる<br>視点であると思う。 | 人材育成<br>働きながらスキルアップ<br>社会減の緩和策 | 福岡 健志委員    |
| 3   | 魅力的な学校、学びの場(施設に限らず、フィールドが<br>あることも強み)、講師を市内に充実させる。          | 人口減少時代は、大学の存続も危ぶまれるため、むし<br>ろ、すべての世代、あらゆる人々が学び直すことが可能<br>な場を創り、移入を図る。                                | 大学に限らず、全ての人、世代を受け入れられる学びの<br>場を作る。                                                                                                                                                                                                                        | 学びの場<br>学び直し<br>社会減の緩和策        | 杉山 範子委員    |
| 4   | 子育てに希望を持てる                                                  | 実質賃金の低下など、子どもを産み育てることに、不安<br>が大きくなっている<br>●結婚・子育てに関して、経済的な不安を持っている<br>若年層が多い。                        | 個々人の考えを尊重しながらも、結婚・出産・子育てが<br>あたりまえと思えること<br>●結婚・出産に関して、多様な考え方が認められる<br>ようになっていることから、個人の判断を尊重する<br>ことは重要だが、結婚・出産・子育てを希望して<br>いる方々へのきちんとした支援や不安に寄り添う<br>ことは重要な視点                                                                                            | 結婚・出産・子育ての経済的不安<br>自然減の緩和策     | 和田 孝宏委員    |
| 5   | 子育て支援の徹底                                                    | 人口の確保こそ地域の持続性                                                                                        | 環境(保育所・学校・仕事)の整備                                                                                                                                                                                                                                          | 子育て支援の充実<br>自然減の緩和策            | 小林 伸委員     |
| 6   | 気軽に参加できるコミュニティ<br>●結婚に繋がるような出会いの場の確保                        | 生活を豊かにするためにも、若者の出会いの場の確保の<br>ためにも                                                                    | わかりやすく、加入しやすいこと<br>ニーズの把握                                                                                                                                                                                                                                 | 出会いの場の確保<br>自然減の緩和策            | 和田 孝宏委員    |
| 7   | 婚活                                                          | 人口の確保                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                           | 出会いの場の確保<br>自然減の緩和策            | 小林 伸委員     |

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                             | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                                                                    | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                                                                                                           | キーワード                                         | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------|
| 8   | 手頃な価格で家が建てられる飯田市                                                                                                    | 森林資源の活用<br>●材料費等を含めて価格は高騰しているが、住宅ローンは増えてきている。<br>●だからこそ、安定的な所得を確保することが必要になる。                                                                                        | 地場の森林資源と木材として有効に使う<br>●安く木材を供給する<br>●個人所有の住宅への支援は、定住策として有効と考えられる。                                                                                                                                                              | 地域資源の有効活用<br>安価な住宅<br>住宅政策の充実<br>社会減の緩和策      | 河野 敦委員     |
| 9   | 未来の街の姿を前提に、未来の住宅を新たなインフラとして順次構築していく。その際、集約化を意識する。                                                                   | ゼロエネルギーハウス、デジタル化にも対応、災害に強い、何世代も暮らせるような魅力的な住宅に移住してもらう。                                                                                                               | 「住みたい」「暮らしたい」と思う新しい時代に即した住宅を提供する。                                                                                                                                                                                              | 住みたいと思う住宅<br>住宅の集約化<br>社会減の緩和策                | 杉山 範子委員    |
| 10  | ●二地域居住                                                                                                              |                                                                                                                                                                     | ●リニアが開通すれば、この自然や環境の良さから人は必ず来る。それだけ魅力がある地域だと思う。<br>●そうなるようにしないといけない。                                                                                                                                                            | 二地域居住<br>社会減の緩和策                              | ブレスト中の意見   |
| 11  | ●デジタル化の推進                                                                                                           | ●今一番大変な建設業において、公共事業に関する提出書類が多すぎて、非効率となっている。<br>●これを解消するだけでも、非常に重要な取組となる。<br>●行政で浮いた人手を民間で活用できるようにすれば人手不足も解消されてくる。                                                   | ●行政が率先してDX、IT化を進め、住民の利便性を向上させること<br>●公共事業に関する書類が多くそこがデジタル化されると、企業も自動的にデジタル化されるということ。その意味で、行政からデジタル化を。                                                                                                                          | DX<br>デジタル化<br>社会減の適応策                        | 河野 敦委員     |
| 12  | 生産性が高く、給料水準が高い企業がたくさんある<br>●給料が高く、生産性が高く、魅力ある企業しか残らない時代に、そうした企業がたくさんある地域には、優秀な人材が集まるようになる。                          | 労働力人口の減少<br>●人口が減少する中では、一人一人の生産性を高めていく必要があるが、人材確保の観点から、より高い給料を支払うことができる企業しか残らないと思われる。                                                                               | DX化、IT化による生産性の向上<br>市の手続きの簡素化、特に公共事業の提出書類<br>給料UP                                                                                                                                                                              | 高い給与水準<br>経済的安定性<br>社会減の緩和・適応策                | 河野 敦委員     |
| 13  | 質の高い仕事(産業)の創出<br>●雇用を創出するだけでなく、質の高い仕事や付加価値の高い産業での雇用を創出する必要がある。                                                      | 地域人口を減らさないための条件として、仕事の創出が必要<br>学生が帰れるように<br>●地域の人口が減少している要因として、仕事がないということは大きな要因であると考えている。<br>●仕事がないというのは、働き口がないという意味ではなくて、質の高い「やりたい」と思える仕事がない、ミスマッチが起きていることが原因と考える。 | 人口減少対策<br>●若年層の人口流入を産み、それによる波及効果で更に人が増えるという好循環の元は「質の高い仕事の創出」<br>●質の高い仕事とは、例えばTI系、Googleの本社が当地域になること。<br>●研究型の企業<br>(外からまるごと連れてくる形が理想的)<br>●外から企業が来ることは大切なことではあるが、既存の企業から人材を奪っていく、取り合いの構造が生まれてしまうので、既存の中小企業のパワーアップこそが第一義的に大事な視点 | 雇用創出<br>若年層の回帰<br>既存中小企業のパワーアップ<br>社会減の緩和・適応策 | 福岡 健志委員    |
| 14  | 多様な働き方を受け入れられるまち<br>●将来的にリニアが開通した後、都市部との行き来が容易になった際には、この地域に住み続けながら、都市部に本店がある企業に勤めることを含めて、多様な働き方を受け入れられるような地域になると良い。 | コロナ禍を経て、Web会議やテレワークが一定程度浸透した一方で、地域に済み、地域で働く働き方も残っていくため、様々な働き方で働きやすいまちづくりが必要<br>●本来的にテレワークのみで給与が得られる業種は限定的である。                                                       | 「この地域で働くこと」を気軽に体験できる体制づくり                                                                                                                                                                                                      | 多様な働き方<br>自然減の緩和策<br>社会減の緩和・適応策               | 和田 孝宏委員    |
| 15  | 商売にチャレンジできる飯田市                                                                                                      | 丘の上の停滞<br>空き店舗の多さ<br>●特に中心市街地に空き店舗が非常に多い                                                                                                                            | 空き店舗で商売できるように全国に公募<br>●空き店舗を活用して、行政が財政的支援をして、お試し、チャレンジジョブを全国的に募集してはどうか。                                                                                                                                                        | チャレンジできる<br>外部からの持ち込み<br>社会減の緩和・適応策           | 河野 敦委員     |
| 16  | 再生可能エネルギー及び蓄電システム(揚水も?)を地域の産業として定着させること。                                                                            | 災害時や予測不能な危機に対して、機能停止しないよう備える必要があるから。                                                                                                                                | 特に、食料、水、エネルギーの確保                                                                                                                                                                                                               | エネルギー産業の定着<br>食料・水・エネルギーの確保                   | 杉山 範子委員    |

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                          | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                                                                               | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                                                                                                                                                                                                       | キーワード                                         | 備考<br>発言者等 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------|------------|
| 17  | 特に、農業、エネルギーに関する職を安定させる。                                                          | 生活していくための仕事、就職先があることが重要<br>(若者だけではなく、すべての世代、ジェンダーについて)                                                                                                                         | 地域産業の安定化または確立(生業を確保する)                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 地域産業の安定化<br>農業の安定化<br>エネルギー産業の安定化             | 杉山 範子委員    |
| 18  | 空き家・遊休農地の解放                                                                      | 都会の若者でも農地が持てる                                                                                                                                                                  | 仕事、スキルアップ                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 若年層の回帰<br>地域資源の活用                             | 小林 伸委員     |
| 19  | 農業が儲かる産業となる飯田市                                                                   | 果樹・農産物のおいしさ<br>●農業の持続性は大規模化にあると考えている。<br>●更に、儲かり持続性が高い農業を考えた際は、<br>「内部循環」の環に入れるのではなく、外に対し<br>て売る戦略をとるべきと考える。                                                                   | 農業生産を増加させるべく補助金を導入                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 儲かる農業<br>大規模化と海外輸出<br>内部循環の環からの離脱             | 河野 敦委員     |
| 20  | 地元を自慢できる                                                                         | 現状では、進学で1度地元を離れることが多い<br>地元の話をする中で、改めて地元の良さを振り返れる<br>●学生になって、全国のいろいろな地域出身の友人と<br>ふれあう中で、自分が生まれた地域について誇るこ<br>とができない自分に気がついた。<br>●この地域の人は、すぐに「何もない」という。<br>こんなに良いところなのに、謙虚な人が多い。 | 高校生くらいまでに、地元で様々な経験ができる<br>●例えば、獅子舞を体験するなどを、比較的小さい<br>頃から経験できると良い。<br>●その経験が、地域を離れたときに、当地域を冷静に<br>見ることに繋がり、結果、帰ってくるインセンティ<br>ブにもなると思う。                                                                                                                                                                                      | 郷土愛を育む教育                                      | 和田 孝宏委員    |
| 21  | 地域外と積極的に交流する飯田市<br>●閉鎖間を打開し、外へ出す、外から入れて受け止<br>めるを徹底することで、開放的で持続的な経済社<br>会が構築できる。 | 閉鎖性<br>●この地域は、極めて閉鎖的で、「他」をうまく認め<br>ない、取り込めていないと感じている。<br>●そもそも、地域のことを地域で何とかしようとする<br>発想に限界があると感じている。                                                                           | 地域で何とかしようという発想をやめる<br>●「地域をどうするかを地域で考える」「地産地消」<br>は大事な視点だが、それだけで話をしようとするの<br>は無理があるのでやめた方がよい。<br>●「外に対して売れるものはきちんと売って、残り物<br>は地域で回していく」くらいの考え方でないと、持<br>続的な地域にはならない。<br>●山に囲まれていて、都市部等との物質的・時間的距<br>離があるのでこうなるが、リニア開通後は、これが<br>解消されるとすると、この考え方は今から準備すべ<br>き視点ではないか。<br>●中でなんとかしたいという閉鎖的な発想から、人を<br>囲い込む、大学誘致といった発想があるとしたら。 | 外部ナレッジ<br>外部の知恵                               | 河野 敦委員     |
| 22  | 南アルプスにもぼれる飯田市                                                                    | 南アルプスの山々<br>●地域資源としての南アルプスを観光資源として有効<br>に活用できているか。<br>●北アルプスは、登山道や山小屋が整備されていて、<br>登山者を迎える体制ができているが、南アルプスは<br>そうではないと聞いた。<br>●折角の優良な観光資源を十分に生かし切れていない<br>と感じている。                | 登山ブーム<br>南信濃から登山路を確保<br>●山ガールなどのブームもあり、結構な量の登山者が<br>来ている。<br>●遠山郷の道の駅の整備とあわせて、エコツーリズム<br>等を進めていくと聞いたが、大事なことだと思う。<br>●地域にある資源を観光資源としてきちんと価値化し<br>ていく取組を進めるべきである。                                                                                                                                                            | 自然資本の有効活用<br>地域資源の価値化・ツーリズム化に<br>より儲かる観光産業の創出 | 河野 敦委員     |
| 23  | 観光客の増加                                                                           | 美しい景色                                                                                                                                                                          | 魅力的な観光コースの創設                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 自然資本の有効活用<br>儲かる観光産業の創出                       | 河野 敦委員     |

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                                                                                                                                | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                                                                                      | キーワード                                           | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|------------|
| 24  | 大学誘致                                                    |                                                                                                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●本当に大学誘致は必要か。</li> <li>●リニアが通れば、東京や名古屋の大学に通えば良い。</li> <li>●そういう視点で大学を誘致しようとしている訳ではないのではないか。</li> </ul>                                                             |                                                 | 小林 伸委員     |
| 25  | 災害に強い地域に住む                                              | <p>気候変動が激しくなる中、災害にあいにくい土地への移住を勧める必要がある。</p> <p>●現在の飯田市の都市計画では、防災視点からの土地<br/>利用規制とはないが、地震や風水害等を考慮する<br/>と、一定程度の行政の誘導は必要であると考え。</p>                                                                                               | <p>防災の整った地域にする</p> <p>●住宅は、「失敗したから次」というものではない。</p> <p>●また、宅地とする限りは一定の社会インフラを整備<br/>する必要があることから、見定めが必要であり、イン<br/>フラ維持の観点からも重要な視点であると思う。</p>                                                                | 災害に強いまち<br>強靱なまち                                | 福岡 健志委員    |
| 26  | ごみの活用・減量                                                | <p>ごみの処分にもエネルギーを使っている。</p> <p>ゴミの活用・減量で省エネに</p> <p>●伐採木等の森林資源の利活用</p>                                                                                                                                                           | <p>省エネ・省資源</p> <p>●リサイクルは大事</p>                                                                                                                                                                           | 地域資源の有効活用<br>省エネ・省資源<br>環境配慮                    | 福岡 健志委員    |
| 27  | 公害となりつつある竹林を利用できる飯田市                                    | <p>竹林が多い</p> <p>●竹林の拡大は地域の課題になっている</p> <p>●土砂災害対策としても良くない</p>                                                                                                                                                                   | <p>竹林を活用し、それが商売になる</p> <p>●伐採した竹は、家畜用の飼料となったり、地盤が<br/>緩い土地に混ぜることで、地盤改良ができたりと、<br/>いろいろな用途があると聞いている。</p> <p>●リニアの残土に混ぜて利用するなども考慮すべき</p> <p>●地域にある自然の資源等の地域資源を有効に活用<br/>する視点は持続器安濃性を高めていく上で重要と<br/>考える。</p> | 自然資本の有効活用<br>地域資源の有効活用                          | 河野 敦委員     |
| 28  | 交通の選択肢が多い                                               | <p>移動の基本が車のみ</p> <p>高齢者ドライバーの不安もある</p> <p>●土地条件として、自家用車を保有していないと生活<br/>ができない地域であるが、高齢者ドライバーの課題<br/>などもある。</p>                                                                                                                   | <p>安全の確保した移動手段、または、生活に必要なモノ<br/>(設備)をコンパクトな範囲に</p> <p>●高齢者も含めて必要なときに必要な移動が確保され<br/>ること、また、1回の移動で多くのことが解決でき<br/>るように、機能をコンパクト化する必要もある。</p>                                                                 | モビリティ及びアクセシビリティ<br>の確保<br>機能のコンパクト化<br>コンパクトシティ | 和田 孝宏委員    |
| 29  | 地域活動の改善                                                 | <p>人口減少の中でも運営できるような地域活動の改善</p> <p>●飯田市の特徴である公民館活動が厳しい状況。<br/>重たいと感じている人が多いと感じている。</p> <p>●役を受けてくれる人がいない等の課題も顕在化<br/>している。</p> <p>●飯田市が特にそうなのかはわからないが、各地区の<br/>意見が異常に強いと感じるところがある。</p> <p>●聞くと利害関係が顕在化する、もしくは、調整が<br/>難しくなる。</p> | <p>持続可能な地域</p> <p>●数に対して、過剰な若しくはハードルが高い状況に<br/>あると思うので、もう少し、ハードルを下げる、<br/>やることを絞るなどの工夫が必要であると感じる。</p> <p>●だからこそ、外の知恵を取り入れる、若しくは、<br/>外に出していくという視点が大事になってきている<br/>と思う。</p>                                 | 人が減っても運営できる地域活動                                 | 福岡 健志委員    |
| 30  | コミュニケーションの持続                                            | 災害に直面したときの助け合い                                                                                                                                                                                                                  | 地区の役割負担の軽減                                                                                                                                                                                                | 助け合い<br>つながりの再生                                 | 小林 伸委員     |
| 31  | 土地利用、森林、農地、自然保護、景観など、ルールを<br>見直す。必要ならば、条例化する。           | 無計画な開発をすることで、市街地が無秩序で住みにく<br>く、エネルギー効率が悪く、自然が失われていくため。                                                                                                                                                                          | 生物多様性の観点から、開発しないエリア、自然豊かな<br>美しい場所を確保していく。                                                                                                                                                                | 生物多様性<br>計画的な都市開発                               | 杉山 範子委員    |

# いいだ未来デザイン2028後期計画におけるまちづくりの方向性を検討するためのグループワークの結果

## 令和6年度 第1回 いいだ未来デザイン会議におけるグループワーク グループC

### ポイント – 結果共有のための発表から

- 「学校」・「医療」・「子育て」と子どもに関わる医療関係、魅力ある学校づくり、人を呼び込む政策としての教育も重要との意見が出てきている。
- 「文化」・「自然」では、伝統文化や食文化に関わる自然環境など、持続可能性を考える際には、文化の継承、自然の保護や維持が重要になってくるといった意見が出された。
- 「人口交流」では、人口が減少しているのは飯田市だけではないが、飯田市に関しては、内の人と外の人との交流が活発な地域であってほしいということ、二拠点居住を含めて様々な暮らし方を認め合えるような地域であってほしいとの意見が出ている。
- 「働き方」では、自由な働き方が認められる、魅力ある地域企業が発展していける地域であってほしいという視点や、多様な働き方、生き方が認められる飯田市であってほしいといった意見が出された。
- 「地区の在り方」にも意見が出されており、市内20地区それぞれの魅力、特色がある点が重要な一方で、20地区の中での協働に加え、周辺町村との協力体制の構築といった支援が必要ではないかという意見が出ている。
- それ以外にも、「若者を引きつけるためのカルチャー」、「災害に強い」という視点も出ている。

いいだ未来デザイン2028後期計画におけるまちづくりの方向性を検討するための個別ワークシート  
 ～ 持続可能な地域を創造していく上で必要と思うこと、大切にすべきと思うこと ～

## グループC 意見まとめ

【留意事項】

- 1 関係する発言の趣旨を「●」で記載している。

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                                         | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                 | キーワード     | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------|------------|
| 1   | 魅力ある学校・教育環境(中山間地域の学校存続)                                 | 児童数減少、教育課程の変更、中山間地域の学校廃校<br>●中山間地域の学校が継続できるのか。                                                                                           | 特色ある学校作り<br>小規模教育の魅力化<br>●中山間地域に限らず飯田市全体で特色ある学校<br>づくりとして、人口減少は止められないことを想定<br>したときに、小規模学校や小規模教育が魅力的にあ<br>ることが大切にすべき。                 | 教育        | 遠山 典宏委員    |
| 2   | 人を呼び込む学校づくり                                             | 多様な地域資源を教育に生かし、関係人口の増加を<br>●南信濃を念頭に置いている。地域資源がそれぞれ<br>あって、南信濃は特化してやっているが、教育、<br>学校づくりで関係人口を増加、更には定住人口と<br>いう視点は大事だと思う。                   | 全市的な、一律的な、対応ではなく、地域の個性に応じ<br>る。<br>●全市的に同じ方向を向くのではなく、地域の個性<br>に応じて、権限や財源も移しながらやってくこと<br>が大切                                          | 教育        | 佐々木 崇雅委員   |
| 3   | 一部高校の市営化                                                | 市が目指す経済振興、関係人口の増加につなげやすい。<br>●今、高校を市営化して人を呼び込む地域づくりを<br>かなりやっている市町村が全国にたくさんある。                                                           | 大学だけでなく、高校生の取り込みも大切<br>●小中学校では苦しいところもあるので、高校を<br>市営化して人を呼び込む                                                                         | 教育        | 佐々木 崇雅委員   |
| 4   | 伝統文化の継承                                                 | 人口減少、担い手不足<br>●霜月祭りやお練り祭りなど、伝統文化や民俗芸能<br>が非常に豊かな地域であるが、人口減少する中で、<br>やりたい人はいても、だんだんその方々が高齢化や<br>担い手がいらない。                                 | 伝統文化に対する地域の意識、変えるべきことと変えて<br>はいけないこと<br>●地域にある伝統文化の継承ができていかない状況。<br>伝統文化に対して変えるべきことと変えてはいけ<br>ないことを地域として考えていくという視点で物事<br>を見ていく必要がある。 | 伝統文化      | 遠山 典宏委員    |
| 5   | 冬のお葉漬りが食べられる                                            | (家庭で料理をしない)郷土料理等の伝承が難しくなっ<br>ていて<br>●源助かぶ菜の漬け方を知らないと思われたい。<br>●自分たちの世代はみんな漬けていないと思う。<br>家庭で料理をしなくなっている。<br>●地域で採れたものを食べることは健康にもつな<br>がる。 | 地域でとれたものを食べることで健康に                                                                                                                   | 食文化       | 中田 めぐみ委員   |
| 6   | 春のふきのとう、草餅、おこぎが食べられる                                    | (庭、あぜの手入れができない)高齢化<br>●春のふきのとう、草餅、よもぎ、おこぎが毎年<br>食べられる。食文化は環境である。                                                                         | 地域の食文化の見直し<br>豊かな食文化から豊かな風景が生まれる<br>●自分の環境をちゃんと見る視点がないといこ<br>うことができないということが問題ではないか<br>と思う。<br>●豊かな食文化があるから、風景が綺麗である。                 | 食文化<br>環境 | 中田 めぐみ委員   |

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                          | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                  | キーワード    | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------|
| 7   | 耕された田畑がつづく風景                                            | 耕作放棄地の増加、農家の減少<br>●耕作放棄地がない風景を、来た人たちが見たり、<br>見られる風景があると農業がちゃんと存続して<br>そこで働く人がいる。                          | 自分たちの地域の風景を守る<br>→食料の確保、自然環境を守る                                                                                       | 自然       | 中田 めぐみ委員   |
| 8   | きれいな自然を守る                                               | 桜をみると、自然のやすらぎを感じる<br>●飯田には1本桜があるが、自然の綺麗なところは<br>飯田で残したいところだと思う。<br>●子どもたちにリニアができてどう思うか聞くと、<br>今の状態が良いと言う。 | 開発を規制する<br>●自然も守っていくことが大事                                                                                             | 自然       | 三浦 宏子委員    |
| 9   | 山肉、ジビエ(豊かな食文化)                                          | ●飯田市は山間部が多い。<br>●獣害の被害が山や森に対しての問題になってきて<br>いる。<br>●地産地消に近い部分もある。                                          | ●そういう文化が昔から続けられてるのは理由が<br>あり、その地域で生きていく、持続可能という意味<br>では、大々的ではなくても、細々と続けていくこと<br>は大事                                   | 食文化      | 遠山 典宏委員    |
| 10  | 焼肉                                                      |                                                                                                           |                                                                                                                       | 食文化      | 三浦 宏子委員    |
| 11  | 手入れされた里山、そこから生まれる”恵み”の享受                                | 放置竹林、山林の問題<br>鳥獣害<br>●相反する。恵みの享受。<br>●手入れすればおいしく食べられる。                                                    | 今飯田にある資源の活用                                                                                                           | 環境       | 中田 めぐみ委員   |
| 12  | 木材が高く売れる                                                | 山の手入れができる。                                                                                                | 山を大切に<br>●きれいな自然を守る。<br>●山の手入れ<br>●木材もこれだけ山があるのに、その価値が何にも<br>ならない。山の奥から持ってくると、より人件費<br>がかかる。                          | 林業       | 前島 道広委員    |
| 13  | 人口の増                                                    | 持続不可能な地域となる。<br>●合併したときに720人。今は約350人。切実な問題。                                                               | 特色ある地域                                                                                                                | 人口       | 前島 道広委員    |
| 14  | 内の人と外の人の交流が活発                                           | 人口減少<br>●結局飯田市が良い。                                                                                        | 柔軟な暮らし方(二拠点居住・交流人口)<br>●暮らし方や生き方の多様化を意識する。<br>●二拠点居住や交流人口に柔軟に対応していくこと。<br>●ここに住まないというだけでシャットアウトしてし<br>まうのは、時代に合っていない。 | 人口       | 遠山 典宏委員    |
| 15  | 海外からも人がやってくる飯田市                                         | 人口減少、インバウンド、リニア、地域文化<br>●南信州の伝統文化や食文化は、発信の仕方さえあれ<br>ば海外の人へ魅力的に映る。そういうところをきつ<br>かけに交流人口が増えていくことが必要。        | 外からの人を受け入れる体制やマインド<br>●大切にすべき視点は、外からの人を受け入れる<br>体制やマインド。                                                              | 観光<br>産業 | 遠山 典宏委員    |
| 16  | 広報・SNS                                                  | IT、ネット環境をきちんとする。飯田市は広報が弱い。                                                                                |                                                                                                                       | 広報       | 三浦 宏子委員    |

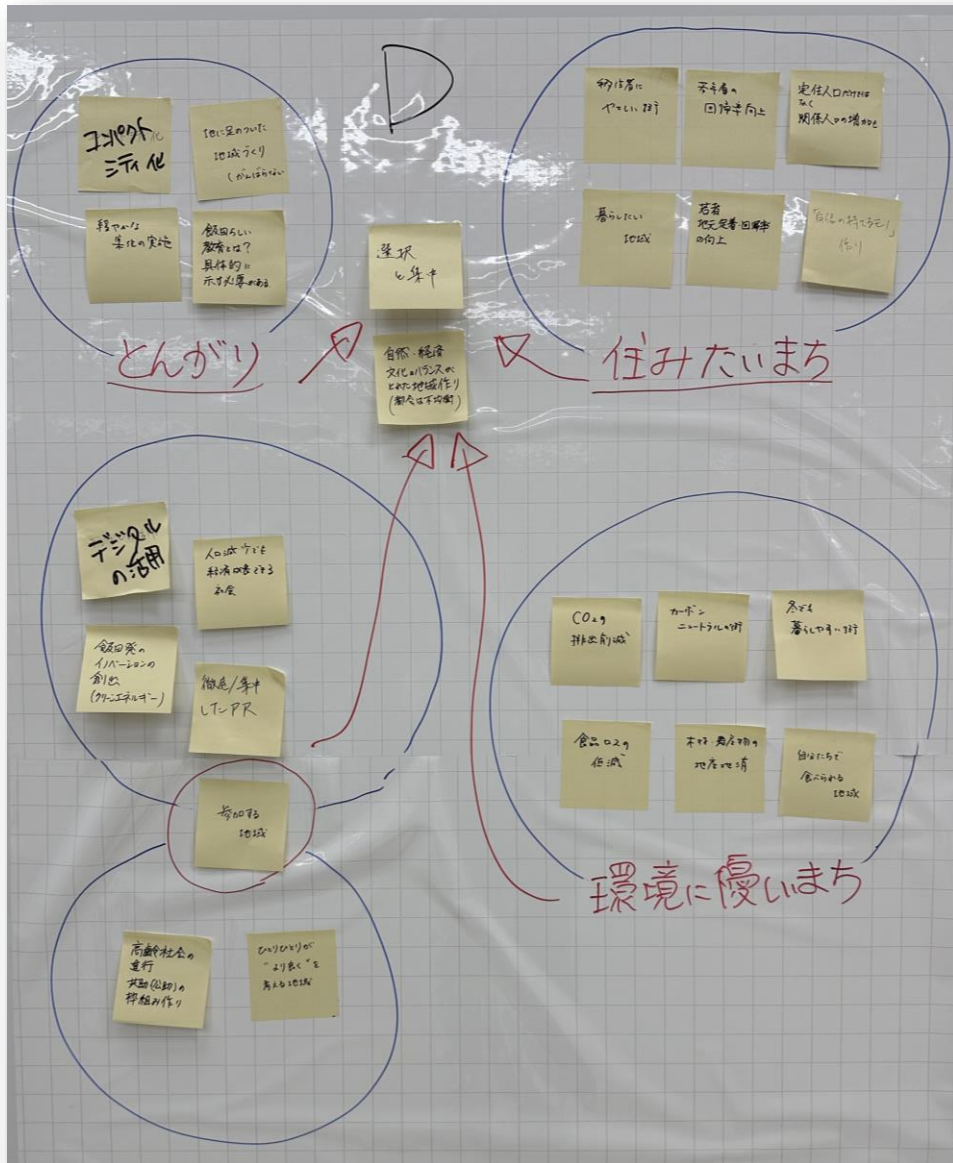
| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                      | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                                | キーワード | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|------------|
| 17  | 地域を広げる                                                  | 人口が減っている<br>●飯田下伊那の小学生以下が毎年100人以上が減っている。                                                              | 地域間の交流をする<br>●昔の村(地区)単位ではなく、広い範囲で交流をして広い視点で見えていかないと、小さなところで頑張っている飯田市として生きていけない。<br>●飯田市という感覚をみんなが持つ。<br>●合併をしろうというわけではなく、近くの地域(村)なら同じ環境のため一緒に行動できる。 | 地区    | 三浦 宏子委員    |
| 18  | 子どもからお年寄りまで一緒に生活・活動する                                   | 年代により、行う事が別々<br>●高校生と中学生のボランティアが増えてきている。<br>●スタッフが年をとってきて活動が大変だが、中学生や高校生のボランティアが入ってくれることによって、活動が成り立つ。 | 年代を通じて助け合う<br>●みんなを引き出していくことが大事                                                                                                                     | 世代間交流 | 三浦 宏子委員    |
| 19  | 世代間交流                                                   | ●運動会は中学生が進行をする。                                                                                       | ●地域に残っていただければ<br>●愛着を持っていただければ                                                                                                                      | 教育    | 前島 道広委員    |
| 20  | 地域に関わる人を増やす                                             | 組合、伝統芸能保存、公民館活動の人材不足<br>●人口が減っても地域活動に関わっている人が増えれば継続できる。                                               | 子育て世代の巻き込み                                                                                                                                          | 人口    | 佐々木 崇雅委員   |
| 21  | 町村との連携強化                                                | 市と町村の制度や、地域活動に差がある。<br>●市内だけではなく、他町村とも連携。                                                             | 合併する必要があるが、14市町村がもっと協調すべき                                                                                                                           | 市町村連携 | 佐々木 崇雅委員   |
| 22  | 地区、学区の見直し                                               | 無理が生じている                                                                                              | 緩やかな合理化を早く実施すべき<br>●地区や学校区を見直した方が良い。<br>●合理化も考える時期が来ている。                                                                                            | 地区    | 佐々木 崇雅委員   |
| 23  | 飯田と都会の二拠点居住                                             | 人口減少<br>●お祭りなどで来る人が増えれば。                                                                              | 自分たちの暮らす地域のよさ(価値)をきちんと評価する                                                                                                                          | 人口    | 中田 めぐみ委員   |
| 24  | 自由な働き方ができる飯田市                                           | 転職、副業、個人事業主、ユーチューバー<br>●人口異動が激しい。<br>●二拠点居住や関係人口に加わってくる。                                              | 企業や既存の働き方にとられない考え方<br>考え方を共有できる場作り                                                                                                                  | 働き方   | 遠山 典宏委員    |
| 25  | 女性の働きやすい環境                                              | 若年層の女性の流出の多さ<br>●男性は長男だから田舎に帰ってこないといけないという縛りがある。<br>●自分はここで働きたいと思えなかった。<br>ここにいと生きづらさがあったんだと思う。       | 性別人種等問わない多様なモノの見方、考え方<br>●女性が働きやすい環境ともの見方。<br>●女性(弱い人)が働きやすい環境であれば、男性も働きやすい                                                                         | 働き方   | 中田 めぐみ委員   |
| 26  | 開かれた飯田市                                                 | 自殺者が多いため<br>●女性が働きやすい環境と関係している。                                                                       | 気楽に相談できる場所                                                                                                                                          | 社会問題  | 三浦 宏子委員    |
| 27  |                                                         | ●飯田市は小さすぎる。<br>●飯田のまちを歩いていると同じ人と会う。                                                                   |                                                                                                                                                     | 経済    | 前島 道広委員    |

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                                                                                                                                                 | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                             | キーワード    | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|------------|
| 28  | 若者が安心して暮らせる賃金                                           | 若者回帰低い最大の原因を捉えている。                                                                                                                                                                                                                               | 経済自立(外貨の獲得)と経営者の意識改革<br>●行政ができることではないが、いい加減みんな<br>考えた方がよい。                                                                                       | 経済       | 佐々木 崇雅委員   |
| 29  | 魅力ある企業がある地域                                             | 若年層の流出、物価高<br>●魅力ある地域企業を若い子たちが知らないのか。<br>●知らないのと企業側が発信できていない。<br>●賃金や諸条件という意味で、都会へ進学した後、<br>都会の企業と比べた時に、魅力ある企業がどれだ<br>けあるのか。選択肢が限られる。<br>●この10年で格差が開き過ぎている。<br>●以前は自然環境に着目して暮らしたい人もいたが、<br>賃金が低すぎて他の地方へ行ってしまふ。<br>●企業に就職しようとする学生が1番見るのは給料と<br>休暇 | 地域と企業と一緒に育っていく考え<br>地域に根差した企業の支援、PR<br>●企業の考え方、地域に根ざしていく企業理念が問題<br>になってくる。                                                                       | 経済       | 遠山 典宏委員    |
| 30  | 誰もが平等に医療を受けられる                                          | 中山間地域の医療弱体化、産婦人科の減少<br>●小児科に行くのに1時間かかる。中山間に限らず、<br>みんなが満足できる医療を受けられる。                                                                                                                                                                            | 地方で活躍できる環境作り(医師にとっても魅力ある)                                                                                                                        | 医療       | 遠山 典宏委員    |
| 31  | 子どもを産み育てたくなる社会                                          | 人口減少、出生率の低下<br>●何かあっても誰かが助けてくれる土台が無ければ<br>産めない状況<br>●産みたいと思っていない人たち、結婚しない                                                                                                                                                                        | 社会に守られている<br>弱い立場の人間が安心して暮らせる制度<br>共助<br>●産めば誰かが助けてくれる環境が大事<br>●賃金をあげることや一人親家庭への対応が大事                                                            | 子育て      | 中田 めぐみ委員   |
| 32  | 垣根の低い子育て環境                                              | 支援策や制度、民間サービスが整っているが、ハードル<br>が高い。気楽じゃない。<br>●子どもにとって垣根が高い。児童クラブ、幼児保育<br>に行けるのか。                                                                                                                                                                  | 子育ての視点として、親が大切にしている子どもの視点<br>も取り入れるべき                                                                                                            | 子育て      | 佐々木 崇雅委員   |
| 33  | 災害に強い地域                                                 | 南海トラフ<br>●消防団等、自治組織が大事。持続可能な中で大事に<br>していくべき視点。                                                                                                                                                                                                   | 災害があっても協力し合える地域、地域のつながり、地<br>域内で解決できる(消防団・資源)                                                                                                    | 防災       | 遠山 典宏委員    |
| 34  | コンパクトシティ                                                | 海外資源にたよるリスク<br>●地域のことが地域で全て完結できるようにする。<br>●外のことや海外のものに頼り切っている生活は何か<br>あったときに弱い。                                                                                                                                                                  | 地産地消(食、文化、エネルギー)<br>●この地域内で、大きな意味で助け合えることや地産<br>地消ができる仕組みだと持続可能になる。                                                                              | コンパクトシティ | 遠山 典宏委員    |
| 35  | 家単位での電力発電                                               | 太陽光発電の飯田<br>●蓄電池の問題。電気さえあれば何とかなる。<br>●おひさましんぼに力をいれる。                                                                                                                                                                                             | 災害に強い                                                                                                                                            | 防災       | 三浦 宏子委員    |
| 36  | 災害に強い町                                                  | 身近に災害を感じる                                                                                                                                                                                                                                        | 過去の災害を学ぶ<br>●過去の地域の災害を子どもたちに教える。<br>●絶対にまたありえること。教えることによって<br>子どもたちがどこに行っても危険があるという<br>ことうや対処の仕方を学ぶことができる。<br>●飯田市としても、過去の災害を公表して備えて<br>いくことが大事。 | 防災       | 三浦 宏子委員    |

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                      | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | キーワード | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------|------------|
| 37  | 通いたくなる書店、図書館                                            | (歩いて通える書店がない)<br>大学がない、市街地の空洞化<br>●もう少し身近な場所書店がほしい。<br>●書店+カフェがあると良い。 | 人間が生きていくために必要な文化                                                     | 若者    | 中田 めぐみ委員   |
| 38  | 映画・演劇・音楽にふれる場が多い                                        | (都市と比較して、少ない)若年層の流出<br>●サブスクもあるが。                                     | 人間が生きていくために必要な文化                                                     | 若者    | 中田 めぐみ委員   |
| 39  | 20地区で個性を発揮する                                            | 人を呼び込む対策をもっと踏み込むようにすべき<br>●パワーアップ交付金を頑張って活用しようとする人材<br>がいない。          | 予算配分、権限の委譲などもっと踏み込んだ対応<br>●地区で好きにやらせてもらえるように、財源と権限<br>を移動する。         | 地区    | 佐々木 崇雅委員   |
| 40  | 人員不足を踏まえた緩やかな合理化                                        | ドラスティックな変化は、人材流出につながる。<br>サービスも、地域活動も、緩やかな減少をしていく<br>べき<br>●一律にやりすぎ。  | 将来を見据えた取捨選択をする空気づくり。<br>●持続性を高めるための合理化をみんなで考える。<br>●緩やかな縮小           | 地区    | 佐々木 崇雅委員   |
| 41  | 若者が元気な事                                                 | 高校生が探求の授業を始めている                                                       | 若者にこれからの飯田を考えるもとなる                                                   | 若者    | 三浦 宏子委員    |
| 42  | 交流人口の増                                                  | 定住に移動                                                                 | 人を大切に                                                                | 人口    | 前島 道広委員    |

# いいだ未来デザイン2028後期計画におけるまちづくりの方向性を検討するためのグループワークの結果

## 令和6年度 第1回 いいだ未来デザイン会議におけるグループワーク グループD



### ポイント – 結果共有のための発表から

- 大きく4つにグルーピングした。
- 「とんがり」というグループは、「コンパクトシティ」や「地に足のついた地域づくり」であるとか「集住」といった「作る」部分に加えて、「飯田らしい教育」をきちんとしていくといった、総花的に何でもやるという視点ではなく、「とがった」視点を集めたグループ
- 「住みたいまち」では、若年層が帰ってこないという課題、移住者を増やすという趣旨で、この地域をどのように魅力化していくかをまとめたグループ
- 左下は、グルーピングされていないように見えるが、上が、産業的な視点やデジタル技術の活用、イノベーションだとか、PRの必要性に関するグループで、下は、地域の協働といった視点だが、両方に共通するところとして、当事者意識を持って参加する、コミットメントをする趣旨で、「参加する地域」というグルーピングをした。
- 「環境に優しいまち」ということで、CO2削減に関するところに加え、食品ロスの低減に関して意見が出まして、食料自給率や地産地消といった面を高めていくことが必要との意見があった。
- 最後に、「選択と集中」・「自然・経済・文化のバランスがとれた地域」という視点は、全てに関わる基本的な部分として、切り出してまとめたところ。

いいだ未来デザイン2028後期計画におけるまちづくりの方向性を検討するための個別ワークシート  
 ～ 持続可能な地域を創造していく上で必要と思うこと、大切にすべきと思うこと ～

## グループD 意見まとめ

【留意事項】

- 1 増田 綾子委員は、ご都合によりグループワークでの発言はなかったが、個人ワークシートの提出をいただいているため、その内容を記載している。
- 2 関係する発言の趣旨を「●」で記載している。

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                                                                                                                                                                                             | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                       | キーワード                 | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------|------------|
| 1   | C02の排出削減                                                | 気候変動により、農産物栽培にも影響<br>●いずれりんごが作れなくなってしまう                                                                                                                                                                                                                                                      | 他地域との連携                                                                                    | 広域連携                  | 竹内 文人委員    |
| 2   | 食品ロスの低減                                                 | 食品系の製造業が多い<br>●傷物でもなんでもおいしい                                                                                                                                                                                                                                                                  | 他地域との連携                                                                                    | 広域連携、環境               | 竹内 文人委員    |
| 3   | 木材、農産物の地産地消                                             | 自給率の向上が必要<br>●人口が減少することは、自給率を高められるチャンス<br>でもある<br>●100%にはならないが、可能性のある地域                                                                                                                                                                                                                      | 外部依存しない仕組み<br>●エネルギーの地産地消                                                                  | 自立、自給、地産地消            | 竹内 文人委員    |
| 4   | 冬でも暮らしやすい街                                              | 冬は寒く、暖かくするエネルギーが必要<br>●寒いのをなんとしてももらいたい<br>●灯油をかなり使う<br>●アメリカでは室内18℃以下になる家は違法                                                                                                                                                                                                                 | 低エネルギーで暖くなる仕組み（断熱）                                                                         | エネルギー、環境              | 竹内 文人委員    |
| 5   | カーボンニュートラルの街                                            | 環境文化都市としての旗印が必要                                                                                                                                                                                                                                                                              | 対外的に飯田を発信<br>●環境文化都市を実践しているまち<br>●まちのPR<br>●経済だけではない<br>●自然が豊かなまちはたくさんあるなかで、別の取組<br>を行っている | 発信、環境                 | 竹内 文人委員    |
| 6   | 緩やかな集住の実施                                               | 人口減少は止められない、広がって住む時代は終わり<br>●佐久市の学校統廃合の際に、新しく学校を建てて、<br>その周りに住んでもらうことを行っている                                                                                                                                                                                                                  | 住むべき場所とそうでない場所の切り分け<br>●強制的に移住させることはできないので緩やかに<br>進めていく                                    | 人口減少への対応、<br>コンパクトシティ | 竹内 文人委員    |
| 7   | 若年層の帰郷率向上                                               | 人口減少を少しでも遅らせるために必要<br>●帰郷率は4割が続いている、高校生自体も減っている<br>ことで分母も小さくなっている<br>●女性が出て行ってしまう要因として、地域のしがらみ<br>が嫌なのでは<br>●女性が帰ってこないことを特筆することで、女性への<br>圧力になっている<br>●女性に帰ってきて、結婚して、こどもを生んで、働い<br>てがパッケージ化されている<br>●女性ばかりにフォーカスすること自体がバイアスに<br>なっている<br>●女性が帰ってきていない自治体に女性は行きたくない<br>とすると、そのことを大々的に言う必要があるのか | 特に女性が帰ってこられる街に<br>●人口減少は止められないが少しでも抗う<br>●ジェンダーバイアス、ジェンダーギャップへの対応<br>●女性を特別視しない            | 人口減少への対応、若年層、女性       | 竹内 文人委員    |

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                                               | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                         | キーワード                              | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|------------|
| 8   | 人口が減少しても経済成長できる社会                                       | 生産年齢人口が減っても対応できる<br>●2050年に1/3になる精算年齢人口で人口減少が避けられない中において、回帰率をどれだけ高めても難しい                                                       | 暮らしの基盤となる産業を守る<br>●人口が減っても回していける仕組みをつくる<br>●DXなどデジタル技術の活用                                    | 人口減少への適応、産業、デジタル、生産性               | 竹内 文人委員    |
| 9   | 他地域からの移住者に優しい街                                          | 地元出身の人間が多く、閉鎖的な面を感じる<br>●飯田で生まれ育った人が6割〜7割を占めている                                                                                | 外国人も含めたウェルカムな雰囲気づくり<br>●リニア時代に向けて                                                            | 移住、閉鎖的、外国人、リニア                     | 竹内 文人委員    |
| 10  | 一人一人が「より良く」を考える地域                                       | 他人事ではなく自分事として捉える、人間関係の希薄化、SNS普及での複雑化、否定<br>●前向きでない地域柄がある<br>●公民館活動が盛んだとされている当地域の現状はどうか<br>●80年代はやる気、そのこども世代は上の世代と下の世代に挟まれて大変そう | 面倒くさがらない、非効率にとらわれない<br>●より良く考えると前向きに考えられる<br>●頑張りすぎず、俯瞰しすぎず、放置しない<br>●効率化しすぎず、アナログ的に面倒くさがらない | ウェルバター、自分事、希薄化、非効率                 | 矢澤 真由委員    |
| 11  | 自分たちで食べられる地域                                            | 食料不足が必ずくる。地域の食文化、農業を守る、人口に対して家が多い、地元ではない飲食店（都市化）<br>●良い農地は良い宅地、食べ物がなければ困ってしまう                                                  | どの何をいつ食べているか<br>●100%地産地消でなくても、自分たちの地域でとれたものをどれだけ食べているか                                      | 食料不足、食文化、農業、地産地消、都市化               | 矢澤 真由委員    |
| 12  | 地に足のついた地域づくり                                            | 都市を目指しているのか、中山間地域の農村ではだめなのか、足を知るべき<br>●中山間地域としてここまで生き残ってきていることの歴史がある                                                           | 当たりまえで気が付いていない宝物をなくさない、守る、誇りに思う<br>●人が減ったとしても、減った中でできることがある                                  | 地域、都市化、農村、足る、当たり前、地に足の着いた、人口減少への適応 | 矢澤 真由委員    |
| 13  | がんばらない                                                  | 情報化が進みすぎている、隣の芝は青い状態になっていないか<br>●他地域の情報が入ることで、あれもこれもほしくなってしまうのではないか                                                            | これまでと今に感謝し、必要以上に今以上を求めない                                                                     | 情報化、必要以上、高望み、地に足の着いた、懂れるのをやめましょう   | 矢澤 真由委員    |
| 14  | 参加する地域                                                  | 知ってるから参加しない、知ったかぶり、分かっているようであって知らない人が多いのではないか<br>●参加していない人が多いのでは                                                               | 参加しやすさを大切に、威張らない<br>●今までとは違う入口を用意する<br>●小さい輪でも良い<br>●どれだけ当事者意識をもって参加できるかという質も大切              | 地域、参加、消極的、閉鎖的                      | 矢澤 真由委員    |
| 15  | 暮らしたい地域                                                 | 便利だから住むのではなく、そこで暮らしたいから住む<br>●この地域が好きで、この地域に暮らしたいから帰ってくる                                                                       | 地域への愛着（人・環境を含む）、風景など<br>●学校生活や地域の人との関係づくり<br>●地域に育ててもらった経験があるから帰ってくる                         | 地域、暮らしたいと思う、愛着                     | 矢澤 真由委員    |
| 16  | 若者の地元定着・回帰率の向上                                          | 進学のために都会で出た若者が戻ってこない現状を変えなければ地域が消滅してしまう<br>●高校卒業後、地元に着定してくれるのは40%程度                                                            | 若者の考え、思い、願いを受け止めるシステムと実現するシステムの構築                                                            | 若者、定着・回帰率、進学                       | 牧島 晃委員     |
| 17  | 定住人口だけでなく関係人口の増加                                        | リニア開業を念頭に飯田の魅力づくりと発信が必要<br>●移住のハードルは高い<br>●一度来てくれた人はなんども来てくれる                                                                  | 人寄りのするまち、魅力発信のできるまち<br>●外から人が来てくれる地域                                                         | 定住人口、関係人口、リニア、飯田の魅力、発信             | 牧島 晃委員     |
| 18  | 社会の高齢化を踏まえ、共助、公助の枠組みづくり                                 | 独居老人などの生活しづらい方にどう支援の手を差し伸べていくか<br>●高齢化の先進地域でもある<br>●高齢者が徒歩で買い物にいく<br>●まちづくりを行政は地域に任せている。<br>まちづくりには高齢者ばかりになってしまう。              | 行政のリードと公助の仕組みづくり<br>●共助で面倒を見てあげるあたたかいまち<br>●共助を行政が手伝う<br>●だれかに気軽に助けてもらえる                     | 高齢化、公助、支援、地域                       | 牧島 晃委員     |

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                                             | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】                                  | キーワード                                           | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|------------|
| 19  | 飯田らしい教育のあり方の明確化・具体化                                     | 地域の魅力を理解できる学びのさらなる推進<br>●飯田の色が見えない                                                                           | こどもが一番飯田を愛している。その思いを継承させて<br>いくことが大切<br>●飯田の方針を打ち出していく                                                | 飯田らしい教育、飯田の魅力、愛着                                | 牧島 晃委員     |
| 20  | 自然、経済、文化のバランスのとれたまちづくり                                  | 都会の人にとって、自然と農産物が飯田の最大の魅力で<br>はないか<br>●経済と文化はもっと尖ったほうが良いが、自然は都会<br>にはないものであり、可能性がある<br>●スタバは都会の文化的なもの         | 農業人口の増加、自然環境に優しい産業のあり方を模索<br>する必要<br>●SDGsのウエディングケーキモデル<br>●文化的なものがなければ若者は残らない、若者が<br>懂れるような文化的なものが必要 | 自然環境、経済、文化、バランス、<br>農産物、飯田の魅力、農業人口、<br>環境に優しい産業 | 牧島 晃委員     |
| 21  | 飯田発のイノベーションの創出                                          | 水素エネルギーの実証タウンを地域ぐるみで応援し、産<br>業化につなげたい<br>●飯田に研究者が多くない<br>●最先端の研究者はまとまって来てくれることは地域<br>として歓迎すべき                | 市民がもっと興味関心を持つ、小中高生が見聞きたり<br>研究者と交流する<br>●自信が持てる地域<br>●地域の人々がもっと関わっていける                                | イノベーション、水素、地域、<br>産業、興味関心、交流                    | 牧島 晃委員     |
| 22  | コンパクトシティ化                                               | リソース（特に人的）の縮小は不可避<br>●リソースがない中で、結局何もできなかったという<br>ことは避ける必要がある                                                 | 生き残っていくために、様々な点で優先順位付けが必要                                                                             | コンパクトシティ、<br>人口減少への適応、優先順位                      | 福澤 斉史委員    |
| 23  | デジタルの活用                                                 | リソース（ひと・もの・かね）の代替、受け皿として必<br>要<br>●生産性の向上にデジタルを使わない手はない<br>●残業や夜勤をしなくても済むようなイノベーション<br>●デジタル活用をしていれば良いと思われがち | まずGoal（目的）が重要、デジタルは手段であり目的で<br>はない<br>●短い労働時間でたくさん稼げれば、給料も上がる                                         | デジタル、目的の明確化、生産性、<br>イノベーション、目的と手段               | 福澤 斉史委員    |
| 24  | 「自信の持てるモノ」づくり                                           | 集まるところには何かある、離反するところには何もな<br>い<br>●回帰率、定住率の低さ                                                                | 観光、産業、農産物、工業品、スポーツ、何か1つ目玉<br>を<br>●総花的にやっても特色がでない、なにか1つ突き<br>抜けるものが必要                                 | 飯田の魅力、発信、選択と集中                                  | 福澤 斉史委員    |
| 25  | 徹底したPR                                                  | 現状は総花的<br>●取組自体やその過程の情報発信が足りていない                                                                             | 目玉の何かを徹底して売り込む<br>●どこの自治体でもやっていることではなく、人を<br>惹きつけるもの                                                  | 総花的、徹底、飯田の魅力、発信                                 | 福澤 斉史委員    |
| 26  | 選択と集中                                                   | 現状は総花的                                                                                                       | 市職員を含めて市民全体が疲弊してしまう前に                                                                                 | 選択と集中、優先順位                                      | 福澤 斉史委員    |
| 27  | 帰って来なくなるまちづくり意識の醸成                                      | 大学入学等で当市を離れる若者に「こういう文化がある<br>からふるさとは良いな」という根っこをつくる                                                           | 体験してこそ、意識に残る。りんご、水引、米作りなど<br>田舎の良さを味わう機会を必ずつくることで、「飯田っ<br>子なら当然知っている」という状況をつくる                        | 若者、魅力、回帰率、進学                                    | 増田 綾子委員    |
| 28  | 地元にある主な産業や企業を知る機会をつくる                                   | 飯田・飯田風越高校等、大学入学をめざす高校は地元の<br>企業を知る機会がない                                                                      | 中学生のうちに、地元企業を見て回り、こんな産業（企<br>業）があるんだな、と知っておく                                                          | 産業、発信、若者、進学、就職                                  | 増田 綾子委員    |

| No. | どうあることが望ましいか、<br>こうなったらいいな、こうあるべき<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | そのように思う・考える理由や背景<br>(課題認識)<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】     | 持続可能な地域を創造していく上で、大切に<br>すべきと思う視点や事柄、今やっておくべき事柄<br>【キーワード若しくは短い文章で記載】 | キーワード                          | 備考<br>発言者等 |
|-----|---------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|--------------------------------|------------|
| 29  | 障がい（特性）が一部あっても働く場所がある                                   | ADHDやASDなどの特性があり、現在は一般企業に<br>勤めることができない若者が多い         | 少子化により、働き手が減少する。雇用側に少し配慮が<br>あれば、働くことのできる若者は大勢いる                     | 障がい、発達特性、若者、就職                 | 増田 綾子委員    |
| 30  | 女性がいきいきと働き、生きていくことのできる社会                                | 地方ゆえに、封建的な考え方は根強く、企業の考え方も<br>古いままのところもあり、若い女性が帰ってこない | 「女性が働きやすいまち」というイメージをつくる                                              | 女性、封建的、産業、企業                   | 増田 綾子委員    |
| 31  | 安心して働くことのできる社会環境の整備                                     | 日々働いていく中で、働くことや職場、家庭との両立な<br>どで、悩む人が多い               | 働く人がその企業の、ひいては地域の財産である、とい<br>う考えが当たり前になる                             | 産業、企業、<br>ワークライフバランス、<br>地域の財産 | 増田 綾子委員    |